

シティプロモーション部

シティプロモーションの推進	VIII-1
観光振興対策	VIII-2
広報	VIII-4
広聴	VIII-6

シティプロモーションの推進

本市の魅力や優位性を市内外に効果的に発信することで都市イメージの向上に努めている。市民が本市を誇りに思う意識を醸成するとともに、市外からの交流人口の増加につなげ、本市の持続的な発展を目指す。

● シティプロモーションイベントの開催

名古屋などの大都市圏におけるシティプロモーションイベントや、市内においては「消防春ふえす in 四日市 S T Y L E」を開催するなど、本市の魅力や観光資源の情報発信に努めている。

また、本市にゆかりのある企業の首都圏オフィス等で本市の魅力を P R するイベントを開催し、市外への効率的なプロモーションに努めている。平成 30 年度は、本市に工場のある企業の川崎事業所にて開催し、シティプロモーション映像の放映、市の魅力紹介パネルの展示、かぶせ茶の試飲、地場産品の販売、工場夜景 V R 体験、こにゅうどうくんによるグリーティングなどを行った。

● メディア活用事業

(1) シティプロモーション映像の制作

新たな本市のシティプロモーション映像「必見四日市」を制作した。新聞や情報番組など、あらゆるメディアで報道されるとともに、本市 P R イベント会場での上映をはじめ、シネアドとして名古屋市や市内の映画館において上映した。

(2) ラジオ番組

東海圏をエリアとするラジオにおいて本市のシティプロモーション番組を放送し、本市の情報や魅力を発信した。

● ふるさと応援寄附金制度を活用した本市の P R

本市が感謝の気持ちとして寄附者に贈る返礼品の提供事業者を募集し、返礼メニューの拡大に努めている。

平成 30 年度の実績は、寄附件数 1,387 件、寄附金額 25,720,400 円であった。

● 地方版図柄入りナンバープレート

自動車のいわゆる「ご当地ナンバー」を導入することで、本市の知名度向上を図るとともに、シビックプライドの醸成を期待している。

平成 30 年度は、本市用の図柄を決定するに当たり、市内の高校に通う高校生から図柄デザインを募集し、7 校 88 名から 90 作品の応募があった。デザイン選定委員会にて最優秀賞 1 点、優秀賞 4 点を選定し、「地方版図柄入りナンバープレートの図柄に関する提案書」を中部運輸局に提出した。

観光振興対策

四日市の魅力と観光情報を効果的に発信するとともに本市への集客と都市イメージの向上をめざしている。工場夜景、とんてき、四日市萬古焼、日永うちわ、かぶせ茶など四日市の生活に根ざした観光資源の磨き上げを行い、新しい発想での観光振興に取り組むなど、四日市市観光・シティプロモーション条例に基づく各種事業に取り組んだ。

また、直接的な集客に結びつく施策として、各種コンベンションの開催に助成支援も行っている。

その他、市民の憩いの場、レクリエーションの場として、宮妻峡ヒュッテ、伊坂ダムサイクルパーク、四日市スポーツランドなどの維持管理に努めるとともに、大四日市まつりや花火大会などのイベントを開催している。

- 観光大使を選任し、本市のイベントへ参加いただくとともに、それぞれのブログ等で本市のPRに努めていただいている。
- 近鉄四日市駅構内の観光案内所「四十三茶屋」にて、本市の名産品である「かぶせ茶」を味わいながらゆっくりと本市の観光パンフレットなどを閲覧できる空間を創出するように努めている。また、近鉄四日市駅改札内に、本市を代表する伝統工芸品である萬古焼で制作した「こにゅうどうくん」の陶像を設置し、来訪客のお出迎えを実施。
観光案内所利用・問合せ件数 7, 364件（平成30年度実績）
- 工場の夜景を海上から観賞するクルーズツアーの認知度向上を支援し、新たな観光客の獲得に努めている。また、工場夜景ツアー実施自治体等で連携した「全国工場夜景サミット」に参加し、全国的な情報発信に努めている。
参加者数 5,329人（平成30年度実績）
- 学会・会議・大会など、各種コンベンションの開催助成や会場の手配についての相談、資料の提供など受入れ体制を整備し、本市への集客の増大に努めている。
市内で開催された宿泊者延100名以上のコンベンション 15件（平成30年度実績）
コンベンション開催に係る宿泊者数 4,402人（ ” ” ）
- 市民に広く親しまれるスポーツ・レクリエーション、健康増進施設として、伊坂ダムサイクルパーク、四日市スポーツランドの運営補助、施設整備を行っている。
利用者数 伊坂ダムサイクルパーク 59,992人（平成30年度実績）
四日市スポーツランド 100,026人（ ” ” ）
- 自然景観に恵まれた鈴鹿国定公園を中心に、宮妻峡ヒュッテの運営管理、東海自然歩道の維持など、自然と調和した観光機能の保持に努めている。
利用者数 宮妻峡ヒュッテ 753人（平成30年度実績）
- 夏のイベントとして「大四日市まつり」、「四日市花火大会」を開催し、多くの市民に楽しんでいただいた。
来場者数 大四日市まつり 233,000人（平成30年度実績）
四日市花火大会 46,000人（ ” ” ）

- 環境にやさしい自転車をコンセプトに、全国的にも珍しい完全公道のコースを使用し、小学生から高校生までのジュニア世代の日本一を決める全国規模の自転車競技大会「四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル（全国ジュニア自転車競技大会）」を開催。
参加者数 677人（平成30年度実績）

・ 広 報

市政運営を円滑に行うためには、市民に市政について理解を深めていただくことが必要である。このため、市では、「広報よっかいち」をはじめとした多様な広報媒体を活用して積極的な情報発信を展開している。

- 「広報よっかいち」の発行
 - (1) 発行日 上旬号…毎月 5 日 下旬号…毎月 20 日 号外…年 4 回
但し、1 月上旬号は 10 日発行
 - (2) 発行部数 141,649 部 (平成 31 年 3 月下旬号)

- 外国語（ポルトガル語）広報の発行
 - 市内に多く在住する南米系市民に日本の制度や生活ルールなどを伝えるため、平成 20 年度から、ポルトガル語による広報紙を発行している。
 - (1) 発行日 毎月 5 日（7・8 月は合併号）
 - (2) 発行部数 2,100 部（各号）

- テレビ・ラジオによる市政情報等の提供
 - ・ちゃんねるよっかいち（CTY 地デジ 12ch・20 分番組）の制作放映
ケーブルテレビのシー・ティー・ワイを通して、市政情報提供番組「ちゃんねるよっかいち」を放映。毎月 10 日毎に更新し、1 日 2 回放映するとともに、過去の番組をインターネットを通して動画配信している。
 - ・三重テレビ放送による放映
三重テレビの番組内の「旬感☆みえ」コーナー（地デジ 7ch・25 分程度）を活用し、イベントや本市の魅力などの情報を発信している。
 - ・「CTY-FM」（76.8MHz）による放送
コミュニティエフエム局の「CTY-FM」に番組枠を設け、身近な情報を発信している。
「マンスリーよっかいち」（市政情報を提供 第 1・3・5 日曜日、2 回/日 5 分番組）
「よっかいちわいわい人探訪！」（市民活動などを紹介 第 2・4 日曜日、2 回/日 5 分番組）
「人権を確かめあう日」（人権啓発番組 毎月 22 日、4 回/日 5 分番組）
「ALO!YOKKAICHI」（ポルトガル語によるお知らせ 土曜日、1 回/日 5 分番組）

- パブリシティによる情報提供
 - 原則として隔週火曜日に、市長による定例記者会見を開催するほか、随時、記者発表や資料提供を行い、市政に関する情報を積極的に報道機関に提供している。

- デザイン名刺の制作
 - 名刺を通して本市の PR を図るため、デザイン名刺の台紙を制作し、市職員などに提供している。

- 四日市 S T Y L E（市勢要覧）の発刊
 - 本市の自然・歴史・文化等の情報や施策および現況などを分かりやすく紹介する四日市 S T Y L E（市勢要覧）を制作し、一冊 200 円で販売も行っている。

● デジタルサイネージによる情報発信

中心市街地再生事業として、近鉄四日市駅周辺に設置した5台のデジタルサイネージで、市政情報やイベント等の情報を発信し、来街者への情報提供に努めている。

・ 広 聴

市政を円滑に推進するには、市民とのコミュニケーションを密にし、市民の意見を市政に反映することが重要となっている。このため、面談、文書、電話、電子メール等による市民からの意見、提言等を随時受け付けるほか、次のような広聴活動を展開している。

- 市政アンケート

市政に対する市民の意識や要望などを調査し、市政に反映させるため、市政アンケートを毎年実施している。平成 30 年度（第 46 回）は、市の取り組みに対する満足度と今後の期待等をテーマに市民 5,000 人を対象に実施した（有効回答率：38.5%）。集計結果は「広報よっかいち」や市ホームページなどで公表している。

- インターネットアンケート「市政ごいけんばん」

個別の施策に関して、市民の意見や考え方を迅速に把握して市政に生かすため、あらかじめ登録されたモニターに対してインターネットを活用したアンケート調査を実施している。平成 30 年度は、「市民活動・市民協働」「図柄入り四日市ナンバープレート」「市政情報等提供番組『ちゃんねるよっかいち』」を調査テーマに 3 回実施した。なお、集計結果は市ホームページで公表している。

- 市政への提案箱

市ホームページに「市政への提案箱」を開設し、市民からの電子メールによる市政への意見や要望等を受け付けている。寄せられた意見等は、担当部局に報告するとともに、回答の必要なものについては担当部局から回答している。平成 30 年度の受付件数は 406 件であった。

- パブリックコメント

市民生活に広く影響を及ぼす市政の基本的な計画や条例等の立案過程において案の段階で広く公表し、市民等から意見を求めることで、より良い市政運営を図ることを目的にしている。

平成 30 年度は、「第 4 次四日市市地域福祉計画」「第 4 次四日市市障害者計画」「四日市市水道ビジョン 2019」「男女共同参画プランよっかいち 2015～2020(後期 2018 年度～2020 年度)」の 4 件について実施した。

- タウンミーティング

市長自らが直接各地域に赴き、地域住民の声を積極的に聴取して意見交換を行うことで施策に反映し、もって地域力の向上を図ることを目的として、平成 30 年度は 24 回実施した。